

都市間高速道路料金割引検討会での主な意見

○ 料金割引全般に係る主な意見

- ・現行の料金割引は色々な工夫がなされたが、結果として複雑となり利用者が理解して行動していないのが課題であった。分かり易くシンプルな割引として利用行動に反映できるような料金にすべきであり、今回の見直し案は分かり易い案となっている。
- ・交通需要に応じた弾力的な割引運用はできないのか？
(例えば、交通混雑時にマイレージ割引を適用しない。)
(例えば、ピーク時とオフピーク時で料金を変動させる。)
- ・プライシングによる交通誘導は重要な施策だが、先ずは新たな料金割引に対し広く理解されてから実施すべき。
- ・今回の新たな割引の実施にあたっては、利用者への周知に努めるとともに、その効果・影響を確認するためのモニタリングを行うなどPDCAを行っていくことが重要。
- ・政策課題への対応のほか会社経営の視点で独自性を発揮してもらいたい。

都市間高速道路料金割引検討会での主な意見

○ 個別の料金割引に係る主な意見

- ・平日朝夕割引（※現在の通勤割引を見直したもの）
 - ・・・頻度の条件（月当り利用回数等）を導入する考え方の整理が必要。
（より効果的な割引とするためか？会社経営の視点か？）
（一般道の混雑緩和が目的であれば頻度に関係なく割り引くべきでは？）
- ・休日割引・・・観光需要の喚起だけが目的なのか？割引施策のPDCAを考える上で
想定効果の整理が必要。
（会社経営の視点もあるのではないか？）
（観光需要の喚起だけならETC車に限定しなくてもよいのでは？）
- ・深夜割引・・・沿道環境改善が目的であれば、地域や路線によって導入の判断
があってもよいのではないか？
- ・マイレージ割引・・・割引率の低下による利用離れがないか？